

令和2年度 北海道教育大学大学院教育学研究科（専門職学位課程）入学試験
（一般選抜 前期募集）

高度教職実践専攻 「小論文」

問 題

平成29年4月1日の教育公務員特例法の一部改正に伴い、任命権者には、地域の実情に応じ、教員等の職責、経験及び適性に応じて向上を図るべき資質能力に関する「教員育成指標」の策定が義務付けられた。

このことを受け、各都道府県では、これまでの中央教育審議会答申や文部科学大臣が示した「指針」等を踏まえ、「求める教員像」を設定し、キャリアステージに応じた具体的な「教員育成指標」を策定している。以下は北海道の例である。

北海道における「求める教員像」
【教職を担うに当たり必要となる素養に関連する観点】 ○ 教育者として、強い使命感・倫理観と、子どもへの深い教育的愛情を、常に持ち続ける教員
【教育又は保育の専門性に関連する観点】 ○ 教育の専門家として、実践的指導力や専門性の向上に、主体的に取り組む教員
【連携及び協働に関連する観点】 ○ 学校づくりを担う一員として、地域等とも連携・協働しながら、課題解決に取り組む教員

【北海道における教員育成指標】（平成29年12月、北海道教育委員会）

そこで、まず、このように「教員育成指標」が重視される理由について、その背景と趣旨（目的）の観点から説明しなさい。

次に、あなたは、これからの養成段階（大学院）と初任段階において、上記した例に示されるような「求める教員像」や「教員育成指標」を踏まえ、自身の資質能力の向上のためにどのように取り組むか述べなさい。その際、希望する学校種を明らかにした上で、初任段階（1～4年程度）に求められる資質能力を3点示し、それぞれについて具体的に説明すること。

以上について、合わせて1200字以上1500字以内で答えなさい。

なお、試験終了後、解答用紙（2枚）のみ提出すること。

10

20

30

30

40

1,200

50

1,500

